

「介護が大変だから仕事をやめないと…」 ちょっと待って！本当にそれでいいの？

介護離職の実態

毎年約10万人が介護離職

介護離職は介護を始めて1年未満で起きやすい

介護初期の混乱の中で先行きを悲観してしまう
自ら介護を担おうとして、両立できずに離職する人が多い。

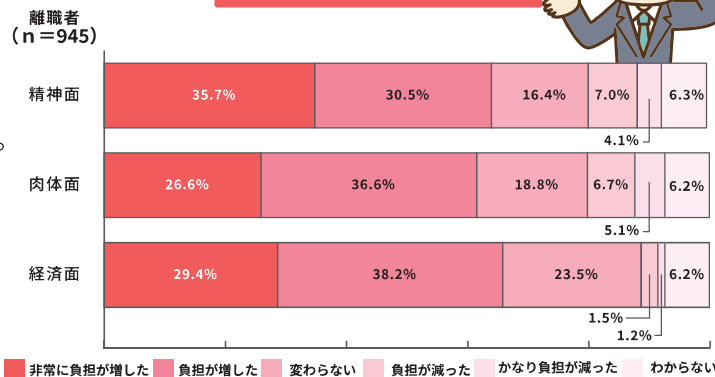
「辞めたら楽になる」とは限らない

離職しても精神面、肉体面、経済面での負担増と
感じる人が6割以上。

離職してからの再就職は難しい

再就職までに約3割の人が半年以上かかっている。

介護離職後の負担の変化



厚生労働省「令和3年度仕事と介護の両立等に関する実態把握のための調査研究事業報告書」を基に作成

親の介護に直面するのは
30代後半～50代後半が多い

働き盛りで介護に直面した方の声／

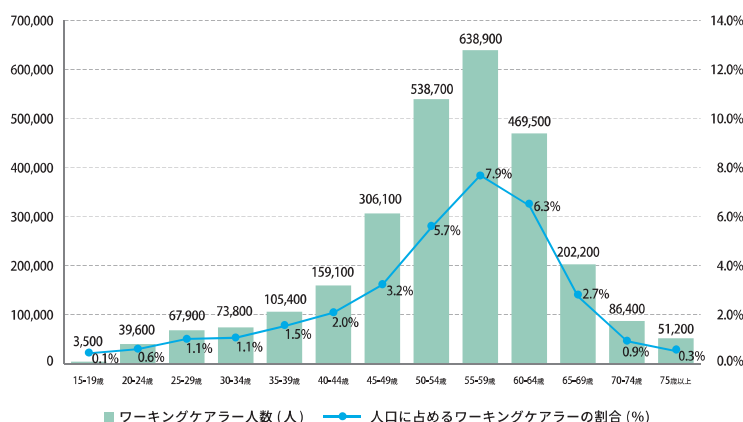


当時は介護保険制度も知らず、勢いで辞めてしまい、すごく後悔しています。離職すると経済的に大変になると言葉では聞いていましたが、本当にそうでした。まずは色々なところに相談して情報を得てほしいです。



会社からも働き続けてほしいと言われました。やりたい仕事を親のために辞めるというのは何としても避けたかったです。同じように親の介護をしている同僚たちととにかく話して、自分の頭を整理しました。

年齢階層別のワーキングケアラー人数と人口に占める割合

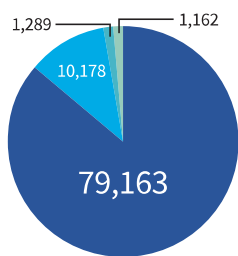


経済産業省 (2024)

「仕事と介護の両立支援に関する経営者向けガイドライン」を基に作成

介護離職は企業にとっても大きな損失です

2030年における経済損失の推計



合計9兆1,792億円の経済損失

- 仕事と介護の両立困難による労働生産性損失額※1
- 介護離職による労働損失額
- 介護離職による育成費用損失額※2
- 介護離職による代替人員採用に係るコスト

経済産業省 (2024)

「仕事と介護の両立支援に関する経営者向けガイドライン」を基に作成



企業の声／

急な介護離職が発生したり、介護疲れで仕事の効率が落ちてしまうような状況になると事業そのものが運営できなくなってしまう。人材の流出は経営上の問題になると感じています。

誰かを支える
あなたも支える。

11月は **ケアラー月間** です。

彩の国
埼玉県